

消防年報



横手市消防本部

令和4年刊行



表紙写真説明

「かまくら」は、約450年の歴史があるといわれ、毎年2月15、16日に行われる小正月行事です。

もともとは、中にまつられた水神様にお賽銭を上げて、家内安全・商売繁盛・五穀豊穡などを祈願する行事でしたが、時代の変化とともに観光化が進んで現在のような形になりました。

は し が き

この消防年報は、主に令和３年中における消防諸般の統計及び令和４年４月現在の管内の消防現況を収録し、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

この年報により、市消防行政へのご理解とより一層のご指導をいただければ幸いに存じます。

令和４年９月

横 手 市 消 防 本 部

市章（シンボルマークとシンボルカラー）

● シンボルマーク

横手市の「よ」と平鹿郡の「ひ」と横手市の頭文字「Y」をモチーフにデザインし、実り、田園、清流を象徴する配色としました。

さわやかで元気な人々のまち「豊かな自然・豊かな心・夢あふれる田園都市」をイメージしています。



● シンボルカラー

横手市を象徴する3色のシンボルカラーです。色名についても、横手平鹿地方にちなんだ独自の名称を設定しています。

横手美の里色[よこてみのりいろ]

一面の稲穂、色付きはじめた四季の果実などの「みのり」から、連想されるオレンジ色に、豊かで美しい里への思いを込めて命名した横手市のシンボルカラー。



横手萌木色[よこてもえぎいろ]

春から初夏の横手盆地を彩る、生命力溢れる若々しい稲や木々から連想される生命と活力、未来への実りと希望を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。










横手花浅葱色[よこてはなあさぎいろ]





横手の清流と、そこから連想される初夏の青系の花を表す花色と、生命力溢れる葱の碧（あお・みどり）に由来する古典的な花色である花浅葱色に、ふるさとの清々しい環境と活力を象徴し、命名した横手市のシンボルカラー。







横手市消防本部一目統計

面積・人口・世帯・気象	面積	人口	世帯数	気象
	692.80km ² 	85,253人 男 40,444人 女 44,809人 (令和4年3月末) 	34,039世帯 (令和4年3月末) 	年平均気温 12.0℃ 年間降水量 1,860mm (令和3年中) 

予算・機構・人事	常備消防費	職員数	消防本部・消防署・分署	人員配置
	令和4年度当初 14億6千9百万円 	定数 170人 実員 169人 (令和4年4月1日) 	消防本部 1 消防署 1 分署 4 	消防本部 26人 消防署 39人 南分署 34人 西分署 34人 平鹿分署 22人 山内分署 14人 計 169人

車両	消防ポンプ車	特殊車両	救急車	その他
	ポンプ車 5台 タンク車 4台 予備消防車 2台 	はしご車(35m) 1台 救助工作車(Ⅱ) 1台 化学車(Ⅲ) 1台 	高規格車 7台 予備高規格車 1台 	指揮車 2台 査察車 1台 資器材搬送車 1台 連絡車 1台 広報車 6台 予備広報車 1台 

消防団・施設	消防団員数	地域別消防団員数(実員)・ポンプ数					消防水利
	定数 2,400人 実員 2,190人 (令和4年4月1日) 	地域	人員	小型	自動車	積載車	(私設、基準外含む)
		横手	357人	15	0	14	消火栓 1,576
		増田	206人	17	0	6	防火水槽 1,105
		平鹿	342人	0	0	19	プール 12
		雄物川	366人	26	1	10	
		大森	183人	16	1	12	
		十文字	441人	33	2	3	
		山内	136人	0	0	12	
		大雄	159人	3	0	9	

予防	防火対象物数	危険物施設数	立入検査数	消防同意数
	3433 (令和4年3月末) 	430 (令和4年3月末) 	防火対象物 365 危険物施設 203 (令和3年度) 	防火対象物 73 一般建築物 80 (令和3年度) 

目 次

I はしがき

横手市章	
横手市消防本部一目統計	
横手市の特性	1
消防の沿革	2
管内状況	9
横手市の位置	10

II 総務編

消防庁舎配置図	11
消防庁舎所在地一覧	12
消防組織図	13
消防本部事務分掌表	14
消防署・分署事務分掌表	16
職員配置状況・職員勤続年数	18
職員階級別年齢表	19
職員研修状況	20
職員の資格、免許等取得状況	21
年度別一般会計予算	22
令和4年度予算分類表	23
歴代消防長、次長、署長一覧表	24
消防相互応援協定等締結状況	26

III 予防編

防火対象物の現況	27
用途別中高層建築物の現況	28
用途別消防用設備等の設置状況	29
用途別消防用設備等 点検結果報告件数	30
用途別立入検査状況	31
建築同意等事務処理件数	32
防火管理者選任状況	33
地域別危険物施設数	34
危険物施設検査状況 危険物手数料徴収状況	35
幼年消防クラブ 火災予防組合結成状況	36
過去5年間の火災概況	37

過去5年間の火災原因	38
過去5年間の主なる火災	39

IV 警防編

車両配置状況	40
消防車両等一覧表	41
気象統計	43
過去5年間の1日最多降雪量、 最深積雪	44
過去5年間の気温の推移	44
月別平均風速と最大風速	45
月別平均気圧の推移	45
救助概況	46
消防用機械器具	47

V 通信編

通信指令設備	48
高機能消防指令センター システム系統図	52
消防デジタル無線 システム概略図	53
119番通報の状況	
119番発信種別の比較	54

VI 救急編

救急業務の推移	55
救急業務の実施状況	56
応急手当の普及状況	62

VII 消防団編

勢力、年報酬及び諸手当	63
歴代消防団長一覧表	64
支部訓練大会種目別成績表	65

VIII 災害記録編

災害年表	66
------	----

横手市の特性

1. 自然的特性

本市は、秋田県の内陸南部横手盆地の中央に位置し、東の奥羽山脈と西の出羽丘陵に囲まれた東西約45.4km、南北35.2kmに広がっている。

河川は、雄物川及び横手川が貫流し、市中央部には肥沃な水田地帯が形成されている。面積は、692.8km²で県土の約6%を占め東部は岩手県和賀郡に、西部は雄物川により二分され羽後町、由利本荘市に、北部は大仙市、美郷町に、南部は湯沢市、東成瀬村に接している。

気象は内陸型の気候を示し、全国でも有数の豪雪地帯となっているが、夏期においては、比較的気候の変化が少なく、温暖で農林産物の育成に適している。

2. 社会的特性

本地域は、石器時代から人が住み集落を形成した遺跡が今でも随所に見られる。また、大和朝廷の国内統一により、秋田に出羽の柵が設けられ、平安時代には、土着の豪族清原氏が勢力を持っていたが、前九年、後三年の役を経て鎌倉時代小野寺氏の領地となり、横手地方は城下町として栄え、県南における政治、経済、文化の中心となった。

その後、幾多の変遷を経て、慶長年間には佐竹藩の領地となり、明治維新後、廃藩置県が行われ、現在の秋田県が誕生し、明治22年町村制実施とともに横手、平鹿地域は1町24村となり、その後、地方自治制度の改革により1市5町2村となる。

平成17年10月1日、平成の大合併を期に、1市5町2村が合併し新横手市が誕生した。人口は、少子化により10万人を割ったが、秋田県第2の都市として現在に至っている。

消 防 の 沿 革

昭和 45 年 8 月、横手平鹿広域市町村圏組合設立許可申請書（地方自治法第 284 条第 1 項）を県知事に提出、同年 8 月 10 日指令地 1072 号にて許可され、昭和 47 年 4 月 1 日、横手平鹿広域市町村圏組合（横手市及び郡内 7 ヶ町村）消防本部・消防署が発足した。

組合消防発足に伴い、従来各市町村の消防本部、消防署等に勤務していた消防長以下職員 76 名が、同付けで組合消防吏員を拝命し、1 本部 1 署 7 分署 1 出張所消防庁舎、消防車両、救急車両、消防機械器具及び各種装備品等は組合に無償で貸与及び譲渡され、組合消防業務を開始した。

その後、平成 17 年 10 月 1 日、構成市町村の合併により、新横手市が誕生し横手市消防本部と名称を変更する。

以下、主なる変遷は次のとおりである。

S 47. 4.27	十文字分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）購入配置し、救急業務開始。
6. 1	消防職員 44 名新規採用する。定数 120 名
12.27	山内、大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2 t トヨタ A-2 級）購入配置。
S48. 3.16	従来の 5W 消防無線を廃止し、10W 消防無線に変更。基地局（固定局）4 局、移動局 54 局運用開始。
4. 1	増田、十文字、山内、大雄分署庁舎新築開設。消防職員 35 名新規採用する。定数 155 名。
9.18	消防署に作業車（いすゞ 1. 5 tトラック）購入配置。
12.25	大森分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）購入配備し、救急業務開始。
S49. 2.14	横手駅前出張所に普通消防ポンプ自動車 BD-I 型（ニッサン A-2 級）購入配置。
〃	大森分署に同上。
3.26	増田分署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2 t トヨタ A-2 級）購入配置。
4. 1	平鹿、雄物川、大森分署庁舎新築開設。
4.19	消防本部に連絡車（トヨタ）購入配置。
S51.10. 5	横手駅前出張所、駅前地区都市計画により新築移転（木造 2 階建）
S52.12.12	雄物川分署に救急自動車（トヨタ 2B 型）配置し、救急業務開始。日本損害保険協会寄贈車。
12.26	消防署に救急自動車（ニッサン 2B 型）更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
S53. 2.22	横手駅前出張所に梯子付消防ポンプ自動車（24m 級いすゞ・艀装日本機械）購入配置。
5. 7	消防本部に指揮車（スズキ 4WD）購入配置。
6. 1	増員 4 名、定数 159 名。
12.27	横手駅前出張所新築移転。（鉄骨サイデング平屋建）
S54. 3.17	消防署に水槽付ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 2. 5 t いすゞ A-2 級）更新購入配置。
9.22	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型（積載水 1. 6 t いすゞ A-1 級）配置。日本損害保険協会寄贈車。
11.20	平鹿分署に救急自動車（ニッサン 2B 型）配置し、救急業務開始。秋田県共済農業協同

	組合連合会寄贈車。
S55.11.20	十文字分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
11.25	消防署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S56.10. 9	雄物川分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S57. 1.13	旧市役所屋上望楼全面廃止。
9.17	増田分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S58. 9.30	平鹿分署に消防ポンプ自動車BD-I型（トヨタA-2級）購入配置。
S59. 2.26	十文字分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車。
7. 9	雄物川分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
7.11	増田分署に広報車（トヨタバン）購入配置。（H4. 6 駅前出張所へ移動）
9.26	消防本部に広報車（ニッサン）配置。日本船舶振興会寄贈車。
11. 5	大森分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）購入配置。
S60. 6.25	平鹿分署に広報車（スバルバン）購入配置。
6.25	十文字分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
12.25	消防署に水槽付ポンプ自動車（積載水3tいすゞA-2級）更新購入配置。
S61. 8.29	大雄分署に広報車（トヨタバン）購入配置。
11.17	山内分署に消防ポンプ自動車BD-I型（ニッサンA-2級）更新購入配置。
12.26	大森分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新配置。日本自動車工業会寄贈車）
S62.12.23	十文字分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水3t日野A-2級）更新購入配置。
S63. 3.28	消防署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
4. 1	中国杭州市市長来横を契機として歓迎演奏のため「ファンファーレ隊」編成。隊長以下10名で発足。
8.29	消防署に電源照明車（いすゞ1Kw×4灯）配置。日本船舶振興会寄贈車。
10.24	横手平鹿幼少年婦人防火委員会5団体で発足。
H 1. 2. 9	横手駅前出張所に化学消防車（水槽容量2. 5t日野A-2級）購入配置。
3.20	解体前の旧市役所庁舎を使用しての大規模消防訓練実施。
3.28	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置、救急業務開始。日本自動車工業会寄贈車。
4. 1	消防本部に総務課、警防課の2課を新設。条例定数155名。
〃	「ファンファーレ隊」を消防音楽隊「アップバンドチーム」に改名、隊長以下15名に増員。
5.18	消防本部に公用車（ニッサン）購入配置。
12. 8	雄物川分署に水槽付消防ポンプ自動車水-II型（積載水2. 5t日野A-2級）更新配置。
〃	大森分署に消防ポンプ自動車CD-I型4WD（三菱A-2級）更新購入配置。
H 2. 1.12	雄物川分署に救急自動車（いすゞ2B型）更新購入配置。
5.16	大森分署に広報車（ニッサンバン）更新購入配置。
5.19	消防署に連絡車（サニーバン）更新購入配置。
10. 1	管内消防無線呼出名称変更申請認定され、基地局（固定局）4局、移動局54局（含携帯22局）運用開始。

12.10	救急波（基地局４局、移動局８局）増設申請許可され運用開始。
H 3. 2.22	平鹿分署に救急自動車（ニッサン２Ｂ型）更新配置。日本損害保険協会寄贈車。
3.28	消防署に特別救助隊用工作車Ⅱ型（三菱・艤装日本機械）配置。日本損害保険協会寄贈車。
5.20	横手平鹿幼少年婦人防火委員会総団体数 30 団体。
6.27	消防署に防火号（ニッサンワゴンタイプ）配置。（財）日本防火協会寄贈車。
7. 1	消防音楽隊隊長以下 23 名。延べ演奏回数 20 回。
7.15	秋田自動車道用救急自動車（いすゞ２Ｂ型）駅前出張所配置。秋田県共済農業協同組合連合会寄贈車。
7.16	雄物川分署に広報車更新購入配置。
7.25	秋田自動車道（横手～秋田）供用開始。
8.23	消防署に資器材搬送車（作業車いすゞ1. 5 tトラック）更新購入配置。
9. 1	条例定数改正により 4 名増員し 159 名。
9.20	従来チャンネル切替えて使用していた市町村波、県内波分離許可。
12.18	大森分署に水槽付消防ポンプ自動車水－Ⅱ型（積載水 2. 5 t 日野Ａ－２級）更新購入配置。
12.18	横手駅前出張所に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型 4WD（三菱Ａ－２級）更新購入配置。
H 4. 4. 1	消防本部に予防課新設。
5.29	増田分署に広報車更新購入配置。
9.10	無線呼出符号簡略化のため一部無線局名称変更申請許可。
H 5. 2.10	増田分署水槽付消防ポンプ自動車水－Ⅱ型（積載水 2. 5 t 日野Ａ－２級）更新購入配置。
2.22	消防署に救急自動車（いすゞ２Ｂ型）更新購入配置。
3.11	消防本部に指令車（1, 500 c c F A X付）購入配置。
3.15	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型沖電気製）導入。
3.23	消防訓練塔（鉄筋コンクリート 6 階建）完成。
5.28	消防署に連絡車（トヨタ 1, 800 c c）配置。（財）日本消防協会寄贈車。
6.18	平鹿分署、山内分署に広報車（ニッサンＡＤバン）更新購入配置。
7.31	消防等合同庁舎竣工。同年 8 月 25 日移転完了し、消防業務開始。
8.18	高圧ガス製造施設（空気定置式）完成。許可申請（指令資－322）
8.30	衣服器材殺菌消毒装置設置。
9. 1	消防等合同庁舎竣工式挙行。
H 6. 2.28	消防署に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型 4WD（三菱Ａ－２級）及び山内分署に水槽付消防ポンプ自動車水－Ⅱ型（積載水 2. 0 t 日野Ａ－２級）更新購入配置。
4.11	梯子車、化学車を横手駅前出張所から消防署へ移動配置。
11.22	自動車専用道路（湯沢～横手）供用開始。
12.19	消防無線全国波（増設）変更申請許可。（基地局 1 局、移動局 11 局）
12.27	大雄分署に水槽付消防ポンプ自動車水－Ⅱ型（積載水 2. 0 t いすゞＡ－２級）更新購入配置。
H 7. 3.14	十文字分署に救急自動車（ニッサン２Ｂ型）更新配置。秋田県共済農業協同組合連合会

	寄贈車。
9. 1	秋田県総合防災訓練横手市で実施。
10.16	秋田自動車道消防相互応援協定締結。（北上地区消防組合）
10.27	秋田自動車道山内トンネルで北上地区消防組合と合同消防訓練を実施。
11.10	秋田自動車道（横手～湯田）供用開始。
H 8. 3. 6	十文字分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
4. 1	職員3名増員。職員定数162名。
5. 8	救急救命士1名養成。
7.31	指揮車更新購入配置。（ニッサン1, 800cc）
11.15	消防用携帯無線機 5W1局更新購入配置。
12.17	大森分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
〃	平鹿分署に水槽付消防ポンプ自動車水－II型（積載水2.0tいすゞA－2級）更新購入配置。
H 9. 3.25	秋田県災害・救急医療システム設置
4. 1	職員2名増員。職員定数164名。
5. 7	救急救命士1名養成。（計2名）
6. 5	湯沢・横手道路（一般国道、自動車専用道路）消防相互応援協定締結。（湯沢雄勝広域市町村圏組合）
6. 5	湯沢・横手道路（湯沢～十文字）供用開始。
7.23	秋田自動車道（北上西～湯田）供用開始により秋田自動車道全線開通。
9.17	消防用携帯無線 5W5局更新購入配置。
9.30	秋田県災害・救急医療システム運用開始。
10. 6	消防署に高規格救急車1台購入配置。（いすゞ）
H10. 1.16	雄物川分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
1.28	救命索発射銃（空気式）一丁購入配置。
2. 1	高規格救急自動車運用開始。
2.27	緊急消防援助隊野営用天幕一式購入配置。
5.11	救急救命士1名養成。（計3名）
11.18	救急救命士1名養成。（計4名）
11.26	増田分署に救急自動車（ニッサン2B型）更新購入配置。
12. 8	増田分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。
H11. 2.22	消防署に35m級梯子付消防自動車（日産・艤装日本機械）更新購入配置。
〃	消防用携帯無線機 5W1局購入配置。
4. 1	職員1名増員。職員定数165名。
〃	秋田県消防防災航空隊発足に伴う救助隊員として秋田県に職員1名派遣。
4.30	消防署に救助用救命ボート購入配置。
9.13	消防用携帯無線機 5W3局更新購入配置。
11.29	救急救命士1名養成（計5名）
12.15	雄物川分署に救急自動車（トヨタ2B型）更新購入配置。
H12. 2.21	平鹿分署に消防ポンプ自動車CD－I型4WD（三菱A－2級）更新購入配置。

H12. 4. 1	大森、大雄両分署を統合し名称を大森大雄分署とする。
6. 1	平鹿分署にショックパンツ購入配置。
6.20	消防本部連絡1号車（日産マーチ）更新購入配置。
7.21	十文字分署にエアジャッキ購入配置。
9.25	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
11.21	救急救命士1名養成（計6名）
H13. 2.27	消防署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
7. 3	雄物川分署に広報車（日産ADバン）更新購入配置。
8. 7	消防用携帯無線機 5W2 局更新配置。
8.27	広域市町村圏組合発足 30 周年記念式典。
9.28	平鹿分署に2B型救急車（トヨタ・アンビュランス）更新購入配置。
11.14	救急救命士1名養成（計7名）
12. 4	十文字分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメデック）更新購入配置。
12.14	呼吸用高圧空気圧縮機（バウアーM3E／SP-2）購入配置。
H14. 2.19	山内分署にCD-I型4WDポンプ車（三菱）更新購入配置。
2.25	ホームページ開設。
4. 1	消防本部に救急課新設。
6.28	増田分署に広報車（日産）更新購入配置。
8.30	消防本部に指令車（トヨタ）更新購入配置。
10.16	雄物川分署に救助資機材購入配置。
11.20	救急救命士1名養成（計8名）
H15. 1.29	消防相互応援協定書調印式。（北上地区組合消防本部）
3.12	十文字分署に水Ⅱ型水槽付ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
9. 5	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
11.12	救急救命士1名養成（計9名）
H16. 2. 5	消防署に救助工作車Ⅱ型（いすゞ）更新購入配置。
〃	消防署に救命索発射銃一丁（空気式）購入配置。
〃	消防用携帯無線機 5W2 局購入配置。
10.22	横手駅前出張所に2B型救急車（トヨタ・アンビュランス）更新購入配置。
12.13	救急救命士2名養成（計11名）
H17. 2.25	大森大雄分署にCD-I型4WDポンプ車（日野）更新購入配置。
3.15	消防署に化学消防車（水槽2t、薬液槽1.2t、A-2級）更新購入配置。
10. 1	新横手市誕生。消防本部名を横手市消防本部に変更。
12. 7	救急救命士2名養成（計13名）
12.14	大森大雄分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメデック）更新購入配置。
H18. 3.31	横手駅前出張所廃止。
4. 1	救急救命士1名採用（計14名）
5. 1	山内分署に救急車（2B型トヨタ・アンビュランス、旧横手駅前出張所）配置運用開始。
H19. 3.14	高機能消防指令センター（Ⅱ型対応NEC製）更新運用開始。
4.20	救急救命士2名養成（計16名）

H19. 7.19	消防署へ指揮車（日産）購入配置。
H19.11.20	水難救助隊（5名）運用開始。
11.29	消防署へ高規格救急車（日産パラメデック）更新購入配置。
〃	消防用携帯無線機 5W1 局購入配置。
H20. 5. 2	救急救命士 2 名養成（計 18 名）
11.17	増田分署へ救急車（日産パラメデック高規格準拠）更新購入配置。
H21. 5. 7	救急救命士 3 名養成（計 21 名）
7.14	消防署へ資器材搬送車（トヨタ）更新購入配置。
10.28	消防用携帯無線機 5W6 局購入配置
11.18	雄物川分署に救急車（トヨタハイメデック高規格準拠）更新購入配置。
11.27	消防本部に公用車（ホンダ）更新購入配置。
12.18	平鹿・大森大雄・十文字・山内分署に広報車（日産ADバン）4 台更新購入配置。
H22. 5 . 7	救急救命士 2 名養成（計 23 名）
10.1	大量退職に備え、定数を 12 名増員。条例定数 177 名。
11.17	消防署へCD－I 型 4WDポンプ車（日野）更新購入配置。
H23. 4. 1	消防本部に通信指令課新設。
4.12	救急救命士 1 名養成（計 24 名）
12.7	十文字分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H24.5.21	救急救命士 2 名養成（計 26 名）
10.29	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
11.26	十文字分署にCD－I 型 4WDポンプ車（日野）更新購入配置。
11.30	山内分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。JA 共済連寄贈車。
H25.4.1	救急救命士 1 名採用（計 27 名）
5.20	救急救命士 2 名養成（計 29 名）
11.22	消防本部に査察車更新購入配置。
H26.3.5	大森大雄分署に水－II 型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配置。
3.5	山内分署新庁舎完成。
3.24	増田分署に I－B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
5.26	救急救命士 4 名養成（計 33 名）
11.5	消防救急デジタル無線運用開始。
H27.1.15	雄物川分署に I－B 型水槽付消防ポンプ自動車 CAFS 装置付（いすゞ）更新購入配置。
3.31	救急救命士 1 名退職（計 32 名）
3.31	救急救命士 4 名養成（計 36 名）
4.1	救急救命士 1 名採用（計 37 名）
11.13	大森大雄分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H28.3.9	平鹿分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。市民寄贈車。
3.31	救急救命士 2 名養成（計 39 名）
4.1	救急救命士 1 名採用（計 40 名）
11.25	平鹿分署にCD－I 型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
H29.2.23	消防本部に指揮車（トヨタ）購入配置。

H29.10.28	平鹿地域多目的総合施設完成に伴い平鹿分署移転。
12.20	山内分署にCD－I型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
3.31	救急救命士2名養成（計42名）
4.1	救急救命士1名採用（計43名）
H30.3.31	救急救命士2名養成（計45名）
4.1	救急救命士2名採用（計47名）
10.4	増田分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
H31.3.22	消防署南分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士2名養成（計49名）
R1.8.20	南分署に広報車更新購入配置。
9.20	雄物川分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
11..28	大森大雄分署にCD－I型災害対応特殊ポンプ自動車（日野）更新購入配置。
12.19	横手消防署に救助工作車Ⅱ型（日野）更新購入配置。
R2.3.17	消防署西分署新庁舎完成。
3.31	救急救命士2名養成（計51名）
4.1	救急救命士1名採用（計52名）
12.21	横手消防署に35m級はしご付消防自動車（先端屈折式）更新購入配置。
R3.3.31	救急救命士2名養成（計54名）
4.1	救急救命士1名採用（計55名）
11.8	南分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新購入配置。
R4.2.15	消防署にⅡ型災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）更新購入配備。
3.31	救急救命士2名養成、1名退職（計56名）
4.1	救急救命士1名採用（計57名）

管内状況

令和4年4月1日現在
(人口・世帯数は令和4年3月末現在)

<div> <div>区 分</div> <div>地域別</div> </div>	人 口			世帯数	職員数	消防ポンプ車台数	救急自動車台数	その他の車両台数
	総 数 (人)	男 (人)	女 (人)					
横手	34,474	16,297	18,177	15,059	65	5	2	8
増田	6,254	3,005	3,249	2,432	34	2	2	2
十文字	11,978	5,699	6,279	4,638				
雄物川	8,326	3,952	4,374	2,982	34	2	2	2
大森	5,458	2,576	2,882	2,128				
大雄	4,370	2,112	2,258	1,563				
平鹿	11,378	5,362	6,016	4,062	22	2	1	1
山内	3,015	1,441	1,574	1,175	14	1	1	1
計	85,253	40,444	44,809	34,039	169	12	8	14

横手市の位置

